

○産業建設常任委員会

(長野県長野市、新潟県新潟市)

長野市では、ジビエ加工センターを視察した。施設は短期間で整備され衛生管理の徹底された解体・熟成・処理・冷凍室に加え、商品管理や放射能測定などの機器も完備されている。捕獲後2時間以内の搬入を実現するため、市内に保冷車両を配備するなど、商品レベルアップへのこだわりを読み取ることができた。令和6年度に市内で捕獲された1809頭のシカのうち、930頭が同施設へ搬入・加工され、商品化されている。

以前は埋設処理されていたシカが有効活用され、農業被害や捕獲者の負担軽減に貢献している。

ただし、施設は赤字経営で税金による補填が必要であり、鹿角市のクマ捕獲への応用には課題も多い。道の駅での販売や市外への取引拡大、シカ角の高需要など、今後の展開に向けたヒントも得られた。



長野市ジビエ加工センターにて（ジビエカー）

新潟市では、新潟浄化センターを視察した。下水処理過程で発生する汚泥を活用し、新たな肥料「越肥（えこ）の輪にいがた」を開発している。乾燥汚泥は「菌体リン酸肥料」として登録され、混合肥料の原料として利用可能となっていた。設備はコンパクトで省エネ設計、1日25トンの処理能力を持つ。生成された脱水汚泥はセメント会社で代替燃料や原料としても活用されていた。ただし、有害粉塵の発生が課題であり、改修が必要という面がある。

肥料は県立施設やイベントで配布され、収益目



新潟浄化センターにて

的ではなく、輸入依存の国内肥料事情の改善にも寄与している。

鹿角地域の広域汚泥処理計画に向け、多くの示唆を得る視察となった。

(栗山尚記)

(派遣委員)

栗山尚記 綱木裕一
田村富男 成田哲男
安保真希 佐藤大介

※議員個人の報告については、市ホームページに掲載しております。

また、左記2次元コードからも、アクセスすることが出来ます。



〈用語解説〉

◆緊急銃猟制度

📖 P 4、P 5

↓人の日常生活圏にクマやイノシシが出没した場合、一定の条件を満たしたとき、市町村長の判断により銃器を使用した捕獲等ができる制度。

◆宿泊税

📖 P 4

↓ホテルや旅館等の宿泊施設に宿泊した際に宿泊者が支払う地方税のひとつ。主に道府県や市区町村が独自に条例を定め導入しており、宿泊料金に応じて一定額が課税される。

◆こどもまんなか応援サポーター

📖 P 6

↓こども家庭庁が推進する子供たちのために何が最もよいことかを常に考え、子供たちが健やかで幸せに成長できる社会を実現する「こどもまんなか宣言」の主旨に賛同し、取り組みを行う個人、団体、企業、自治体等を指す。

◆第2世代交付金

📖 P 4

↓新しい地方経済・生活環境創生交付金の別

名。地方がそれぞれの特性に応じた発展を遂げることでできるような、日本経済成長の起爆剤としての大規模な地方創生策を講じるため、地方公共団体の自主性と創意工夫に基づいた地域の独自の取り組みを国が支援するもの。

◆地理的表示保護制度

📖 P 8

↓農林水産省が認定するその地域ならではの自然的・人文的・社会的な要因の中で育まれた品質や社会的評価等の特性を有する産品の名称を、地域の知的財産として保護する制度。

◆政治倫理審査会

📖 P 11

↓議員の行為が条例で定められる政治倫理基準や制度規定に反する疑いがある場合、設置される審査会を指す。